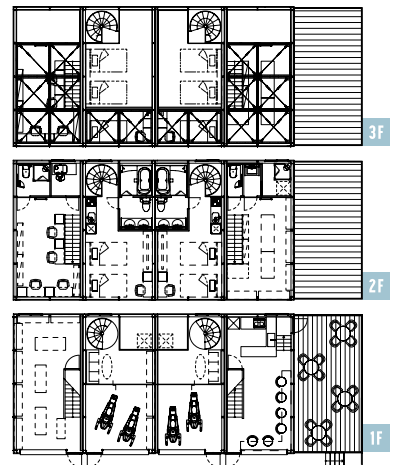


Text/Atsushi TAMADA CG/Kenta KITAGAWA (ldk) , Soma YOKOI



FLOOR PLAN
賃貸住宅、宿泊施設、店舗と各種の利用可能性が見えるリゾート地でのGLB。環境や運営コンセプトに応じて、いろんな組み合わせが可能です。店舗は、下屋を張り出して半外部テラスを設定することで、客席数を稼ぎ出します。宿泊利用者も同じ建物にいますので、長い営業時間の設定がポイントになります。スノーバイクやスノーモービルなどのモーターライフを掛け合わせることでこの店舗の可能性はさらに広がるでしょう。



TERRACE
吹雪の日以外はとても快適なカフェテラス。艶消し黒の鉄骨と、白いパウダースノーの雪原のコントラストが、ワンランク上のリゾート感を演出してくれることでしょう。外部面に設けた厚手のビニルカーテンも有効で、ここで飲むドリンクはまさに至極の一言です。

例えば外国では、家具付きのアパートというものがすでに一般化しています。ある程度センスの良い家具が最初から装備されているのですから、賃貸に対する考え方は逆に自由です。人間は身体だけ移動させればいいので、必然的に引っ越しは気軽ですし、気分転換に住む場所を気ままに変える自由な発想が生まれます。つまり、賃貸住宅は徐々にホテルに近づいていくわけです。長期滞在ホテルと賃貸住宅の境界線が徐々にあいまいになっていくのがこれらの賃貸住宅市場の傾向といえるで

しょう。所有するということが目的化するのではなく、生活の実質を問う。これも豊かな発想のひとつと言えるかもしれません。
ガレージアパートとして開発したGLBは、そのような最新の傾向の中で更にその可能性を進展させていくポテンシャルを持っています。今回のシミュレーションプランでは、6世帯のGLBがそれぞれ違った用途に利用されています。別荘として3世帯、宿泊施設として2世帯、店舗として1世帯です。スノーリゾートで愛車を雪から守るガレージに格納

できることで、ストレスから解放されると同時に、スノーモービルやスノーバイクを格納する場所としても有効です。まさに最適な賃貸別荘で、この考え方が進展すると簡易宿泊施設として、一般開放も可能。風光明媚な場所ならば高収益を叩き出すのです。旅館業法の規制緩和により、フロント機能は不要になったので、ネット環境を整備すれば遠隔での運営も可能です。そして店舗としての賃貸。宿泊者や別荘利用者の管理人としての機能も果たしながら、初期投資の少ない店舗経営が可能になります。

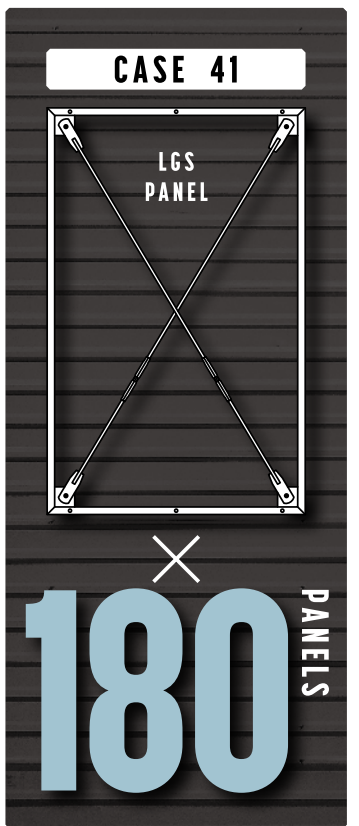
Monthly Theme

スノーリゾートで更に証明される GLBの自由な用途と可能性

ガレージアパートとして開発された「GLB」は、リゾート地ではその可能性が更に広がります。別荘、宿泊施設、店舗と多様な用途で白銀の世界に存在感を示す艶消し鉄骨の実力をイメージしてみました。

デイトナが提案する
新しい建築のカタチ

DH&L
DAYTONA HOUSE×LDK



What's DAYTONA HOUSE ?

デイトナハウスを構成するのは、LGSと呼ばれる軽量鉄骨のパネルで、厚さ3.2mm、幅12.5cm、厚み5cmの「Cチャンネル」と呼ばれる部材を、横幅180cm、縦270cmの長方形に溶接して製作しています。対角線のクロスしたパーツは、「ブレース」と呼ばれる筋違いで、力の伝達を受け持つ大切な役割を持っています。「柱」と「梁」と呼ばれる縦と横の部材を使って軸組を作っていく一般的な建築とは違って、デイトナハウスはこのLGSパネルを連結することで住宅、ガレージ、別荘、店舗、マンションなどの様々な建築を可能とする、全く新しいカタチのシステムなのです。つまりこのLGSパネルを使った建物全てがデイトナハウスと言う訳です。パネルの枚数を数えるだけで、建築の広さ、およその予算がイメージできる分かります。パウダーコーティングが施されたその鉄の素材感が醸し出すハードボイルドな空間のテイストも持ち味です。

www.daytona-house.com

● INFORMATION
LDKinc.

代表: 玉田 敦士
www.ldk.co.jp
03-6228-4933

デイトナをはじめ、カーマガジンでの長期連載、ムック本であるCAR&HOMEにて、常にクルマと住宅の関係について提案し続けてきた建築プロデュース会社LDK inc. 建築設計はもちろんのこと、建築システムの開発や商品開発も行う。



GARAGE
クルマやスノーモービルの格納スペースとしてのガレージを併設することで、この施設の利用可能性は今までにない新境地に到達。建物は高性能な外断熱なので、ガレージ空間は多目的に利用が可能です。天井高は一般よりも高くして、スキーなどのギア類の格納にも貢献します。

Photo/Ken TAKAYANAGI Text/Atsushi TAMADA



1F トーキョーの街並みから ヒントを得たインテリア

艶消し黒の鉄骨と壁面や床のモルタルで構成されたシンプルな1Fインテリア。店舗建築では、陳列される商品群やディスプレイ、お客様の色とりどりの洋服などが、おのずとぎやかさを作り出してくれるのです。特にガラス建築の場合、抑え気味の意匠性しておくことが秘訣。構造的に重要な機能を負うダブルプレースの力感が、店舗空間にリズムを与えてくれるのです。



デイトナハウスが得意とする鉄骨とガラスの意匠を持つ店舗が下北沢にオープンしました。その名も「BURGERS TOKYO」。店舗内部の様子がすべて見渡せる透明感。とは言え、艶消し鉄骨の独特の素材感が、ともすれば冷たく、人を拒絶するようなモダン独特の印象を消し去って、心

2F 無機質な空間をベースに 有機的な素材をプラス

特注の鉄骨パネルが生み出す高い天井高が特徴的な2F店舗空間。FSC認証（森林管理協議会）を取得した材木を使った家具と構造鉄骨のバランスも絶妙で、ワンオフで製作したテラスに設けられた植物たちが街自体にも潤いを与えてくれます。天井のデッキラップとネオン管照明の取り合わせも、独特の色っぽさを演出し、壁面にはNAOHIRO YAKOさんの幻想的な色彩を放つ写真が展示されている。



コンセプトは「超肉感バーガー」

肉の旨味を最大限に引き出したハンバーガーは、オリジナル、チーズバーガー、チリバーガーの3種。いずれも独自開発のパンズにステーキのような肉感のパンと自家製ソースを組み合わせて提供。ハンバーガー単体の価格は税別780円〜。



デイトナ不動産

世田谷区下北沢に誕生した 鉄とガラスのハンバーガーショップ

個性的な店舗が集まる人気の町、下北沢に新たなスポットが誕生。異彩を放つデイトナハウスの店舗建築と新時代のハンバーガーとのコラボが生み出すシナジーです。

惹かれる店舗に仕上がりました。このアーリーモダンの人肌印象が、デイトナハウスの店舗建築の特徴と言えるかもしれません。その空間にインナーグリーンの有機的な要素が加味されることで、なおさら複合的なカッコいい空間に仕上がります。ナチュラルを表現するのに、ナチュラル素材のオンパレードにするようなデザインをデイトナハウスはしません。むしろ人為とナチュラルの相乗効果を表現するところに、いつまでも飽きの来ない、人が集まる空間性が現出すると考えているからです。デイトナハウスが手掛ける店舗が共通して持っているこの不思議なスケルトン感覚は、オリジナルのスチールサッシによるものです。構造体の鉄骨と同一の焼き付け粉体塗装のスチールサッシは、構造体の耐力を利用して設置されています。ですからあくまで細くシャープに、しかも鉄骨の骨組みの一部として見えるのです。店舗の中身の豊かさや楽しさを、街に染み出させるような店舗建築。建築それ自体は何も声高には主張していないのに、鮮烈な印象を訪れる人に残してくれる。これが、LGSシステム建築の特徴なのです。

BURGERS TOKYOとは？

「1つのバーガー、1つの支援」をコンセプトに、1食ごとに国際NGO「ハンガーゼロ（一般財団法人日本国際飢餓対策機構）」を通して、ケニアのスラム街に建つ学校へ給食1食分を支援する仕組みを導入。東京からサステナブルなハンバーガーカルチャーを提案している。

住所：東京都世田谷区北沢2-34-7
電話：03-6407-1720
営業時間：11:30-23:00 不定休
www.burgerstokyo.com



鉄骨構造体のダブルプレースと、スケボーを使用したセンスの高い家具が共鳴する店舗入り口（左）。この建物自体の名称は「BASE-ONE」と名付けられており、壁面には有名書道家が記したサインが掲げられている（中）。巨大看板を必要としない、建物全体がサインになるコンセプト。コンパクトでカッコいいサインがむしろ印象を引き立てています（右）。



TYPE-Bの独特の外観は、郊外の山の緑とも絶妙に呼応する。さらにコルベット・ステイキングレイが眠るガレージが、このモデルハウスの持ち味。

福島県いわき市に TYPE-Bのモデルハウス完成!!

規格住宅TYPE-Bのモデルハウスが更に完成度をアップして、福島県いわき市にオープンしました。周辺の山の緑が随所に垣間見えて、素晴らしい空間に仕上がっています。見学のお問い合わせはデイトナハウス×LDKいわきまで。



DAYTONA HOUSE×LDK IWAKI (エステートいわき) 0246-43-7373 daytonahouse-iwaki.jp